

平成29年3月21日(火)10:00~12:00
第2回 港湾の堤外地等における高潮リスク低減方策検討委員会

【報告】 大阪湾における高潮対策検討WGについて

平成29年 2月24日

近畿地方整備局 港湾空港部

【報告】 第1回 大阪湾高潮対策検討WGについて

【議論のポイント】

○ 大阪湾における高潮対策検討WGについて

- ・「最大規模の高潮」を意識しながら今後の議論を進めたい。
- ・水防法とL2高潮との関係について、最終的には各府県の水防法に基づく検討とリンクさせる予定。

○ 大阪湾の堤外地の状況

- ・地盤高の図を示した結果、防潮ラインの高さ、陸閘等の考慮について質問があった。

○ コンテナターミナルにおける高潮・津波等への対策

- ・コンテナ以外の貨物等の防災対応について、コンテナは退避や固定ができるが、バラ貨物では移動が難しく、状況を見ているしかない。

○ 気象庁が発表する防災気象情報

- ・台風情報の発報頻度について、予想可能な間隔が決まっており、計算自体にも時間がかかることから、頻繁に発報するのは難しい。
- ・気象庁HPで潮位実績は時間帯毎に把握可能だが、予想については今の技術では難しい。また、一般の方の誤解を招く恐れもあるため、簡単ではない。

<参考> 気象庁説明の高潮警報発令基準における大阪府と兵庫県の違い

(大阪府)

- ・堤外地の岸壁等の最も低い値
- ・防潮扉、水門の閉鎖判断基準
- ・堤外地の事業所等の関係者の避難基準

(兵庫県)

- ・芦屋市、西宮市：堤外地事業者避難計画
- ・神戸市：防潮堤天端
- ・尼崎市：国道2号の陸閘敷高

【マニュアルに記載すべき項目・事項】

- ◇ 各機関における提供すべき情報
- ◇ 何日前になったらこれをしましようという作業項目、行動のチェックリスト
- ◇ 陸閘閉鎖のタイミング（一般来訪者のいる場所については操作に注意が必要）。
- ◇ 津波と高潮の違いを踏まえた対策事例（海面上昇という大枠では同じ。時間的スケールが全く違う。）
- ◇ 効率的な場内排水のありかた（台風度に場内浸水に備えた土嚢積みを実施）

【その他特筆事項】

- ◇ 企業と住民とで対応のフェーズが違う。
- ◇ 台風による暴風、高波の考慮が必要。
- ◇ 南トラ巨大地震の津波高、浸水想定図のような、地点における潮位、浸水想定図を提示願う。
- ◇ スーパー室戸台風のような最悪の高潮を想定した対策が本当に必要なのか。
- ◇ 企業としてどこまでリスクを考えるのか。